

HITACHI
Inspire the Next

SU8000 Series

SU9000

世界を変えたFE技術。 半世紀に渡る 深化の最先端へ。

「電界放出形電子顕微鏡の実用化」が
IEEEマイルストーンに認定されました。

「見えないものが見える」をキャッチフレーズに、信頼性と操作性で世界中のお客さまから愛用されてきた日立のFE-SEM*。いまではFE-SEMといえば「日立」というほど世界中で認められています。その実績は、IEEEマイルストーン認定という形でここに結実。まさにFE電子顕微鏡なら、世界を変える答えが見えるといっても過言ではありません。

* FE-SEM: Field Emission-Scanning Electron Microscope (電界放出形走査電子顕微鏡)



 **株式会社 日立ハイテクノロジーズ**

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤリン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL www.hitachi-hitec.com/science/

北海道(札幌) (050) 3139-4994
関西(大阪) (050) 3139-4801

東北(仙台) (050) 3139-4985
九州(福岡) (050) 3139-4150

中部(名古屋) (050) 3139-4566

新 刊

Atlas of Freshwater Fossil Diatoms in Japan — Including related recent taxa —

日本淡水化石珪藻図説

— 関連現生種を含む —

田中 宏之 著

B5 判上製・総頁 612 頁・定価（本体 33,000 円＋税）

本書は日本の淡水成堆積物から見出された化石珪藻の図説であり、計 236 分類群を収録する（一部に汽水種、および現生の淡水珪藻も収録）。本文は各分類群の精密な電顕写真、和文解説、和英の図版キャプションから成り、解説の文献欄には、原記載、または標記の所属に組み合わせを行った文献、殻の形態、種の特性を理解する上で参考となり入手しやすい文献を示す。試料は前期中新世から完新世までの地層から採取したが、一部は現在の湖沼から採取したものを含み、産出層等への記載は、現生の浮遊・付着性試料は現生（Recent）、底泥の場合は完新世（Holocene）と記した。用語は基本的に Ross *et al.* (1979)、小林弘珪藻図鑑（小林ら 2006）で示されたものを使用。おもな用語は巻頭に図示した。

I. 新分類群・新組み合わせ／II. 試料／III. 試料処理・プレパラート作成／IV. 収録分類群の配列／V. 収録分類群一覧／VI. 記述用語／VII. 分類群解説・欧文図版説明・図版 1. 中心類：Aulacoseirales / Biddulphiales / Coscinodisales / Orthoseirales / Melosirales / Paraliales / Thalassiosirales / Triceratiales 2. 無縦溝羽状類：Fragilariiales / Tabellariales 3. 単縦溝羽状類：Achnanthes 4. 双縦溝羽状類：Cymbellales / Eunotiales / Naviculales / Rhopalodiales / Surirellales / Thalassiosiphonales VIII. 引用文献 IX. 学名索引 X. 地層・産地別一覧

小林 弘 珪藻図鑑

H. Kobayashi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘 出井雅彦・真山茂樹 著 B5 判上製・総頁 596 頁・定価（本体 34,000 円＋税）
南雲 保・長田敬五

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

【内容目次】凡例／新分類群・新組み合わせ・新用語／収録分類群一覧／珪藻の殻構造と用語／珪藻用語対照表／珪藻分類体系／和文解説／欧文解説と図版／属の学名 - 和名対照表／引用文献／学名索引

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DAIPo, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価（本体 33,000 円＋税）
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か＝きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史／環境指標としての珪藻群集／湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DAIPo／珪藻の生活様式／試料の採集／試料の処理と検鏡／形態（種の同定に関わる特性要素）写真編 I 中心目（Centrales）の分類 II 羽状目（Pennales）の分類 II A 無縦溝亜目（Araphidineae）の分類 II A ディアトマ科（Diatomaceae） II B 有縦溝亜目（Raphidineae）の分類 II B₁ ユーノチア科（Eunotiaceae） II B₂ アクナンテス科（Achnanthes） II B₃ ナビクラ科（Naviculaceae） II B₄ エピテミア科（Epithemiaceae） II B₄ ニチア科（Nitzschaceae） II B₅ スリレラ科（Surirellaceae）学名総索引 事項索引

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

日本藻類学会ホームページ <http://sourui.org/welcome.html>

藻類

第 62 巻第 2 号

2014 年 7 月 5 日印刷

2014 年 7 月 10 日発行

禁 転 載
不 許 複 製

© 2014 Japanese Society of Phycology
日 本 藻 類 学 会

Printed by Isebu Inc.

編集兼発行者

畠田 智

〒 112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学 理学部 生物学科
Tel 03-5978-5356
E-mail shimada.satoshi@ocha.ac.jp

印 刷 所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20
Tel 029-851-2515
Fax 029-852-8501

発 行 所

日本藻類学会

〒 108-8477 東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科
海洋環境学部門
Tel & Fax: 03-5463-0526

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôrui)

第 62 巻 第 2 号 2014 年 7 月 10 日

目 次

遠藤吉三郎 生誕 140 周年

石井健一郎・澤山茂樹・中村亨・石川輝・今井一郎：伊勢湾海底堆積物中に観察された珪藻類休眠期細胞の種同定	79
森田晃央・小黑敏行・斎藤洋一・井上美佐・松田浩一・神谷直明・倉島彰・前川行幸：ヒジキ発芽体の生長および仮根伸長におよぼす水温と光の影響	88
森田晃央・小黑敏行・斎藤洋一・井上美佐・松田浩一・神谷直明・倉島彰・前川行幸：ヒジキ幼体の生長と形態形成におよぼす水温の影響	93

藻類学最前線

矢吹彬憲：藻類進化における“空白の歴史”の解明を目指して ～157 遺伝子解析によって明らかにされた

Palpitomonas の系統的位置とクリプチスタの進化

特集 第 10 回 (2014 年) 日本藻類学会 研究奨励賞	103
特集 第 17 回 (2013 年) 日本藻類学会 論文賞	105
齋藤捷一：館脇先生を偲んで	107
大野正夫：(株) 内田老鶴圃、内田悟会長を偲ぶ	111
北山太樹・大和茂之・石田晃浩・吉田忠生：遠藤吉三郎が撮影した欧州海藻標本写真のガラス乾板	114
日本藻類学会第 38 回大会開催記・参加記	
宮地和幸：大会を振り返って	115
土金勇樹・早川昌志：関連集会「アルガルムービー鑑賞会」開催後記	117
植木紀子：緑色藻類シンポジウムに参加して	119
吉田野空海：エクスカーション「東京湾多摩川河口干潟アサクサノリ観察会」の参加記	120
阿部洋子：ワークショップ「淡水藻類の採集、観察と同定入門」に参加して	121
宮田昌彦・宮地和幸：公開講演会について	122
英文誌 (Phycological Research) 61 巻 3・4 号和文要旨	123
羽生田岳昭：平成 25 年度「水・土壌環境保全活動功労者表彰」	128
2014 年度藻類談話会のお知らせ	128
学会録事	129
会員異動	132
学会シンポジウム情報	133
入会案内・自動会費納入	134
賛助会員 他	135
和文誌「藻類」投稿案内	136
コラム [遊藻子] 北山太樹：死後も作り続けた海藻標本 ―横澤敏和氏の急逝を悼む―	113

日本藻類学会

THE JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY